

今週の感染症発生動向

- ◆ マイコプラズマ肺炎が急増！
◆ 腸管出血性大腸菌感染症の発生は、今年になって67例

★一類～五類全数報告感染症の発生状況(第42週)

- ・一類感染症――報告はありません
・二類感染症――結核 7名
・三類感染症――腸管出血性大腸菌感染症 1名（無症状病原体保有者、血清型・毒素型：O128・VT2）
・四類感染症――報告はありません
・五類感染症――報告はありません

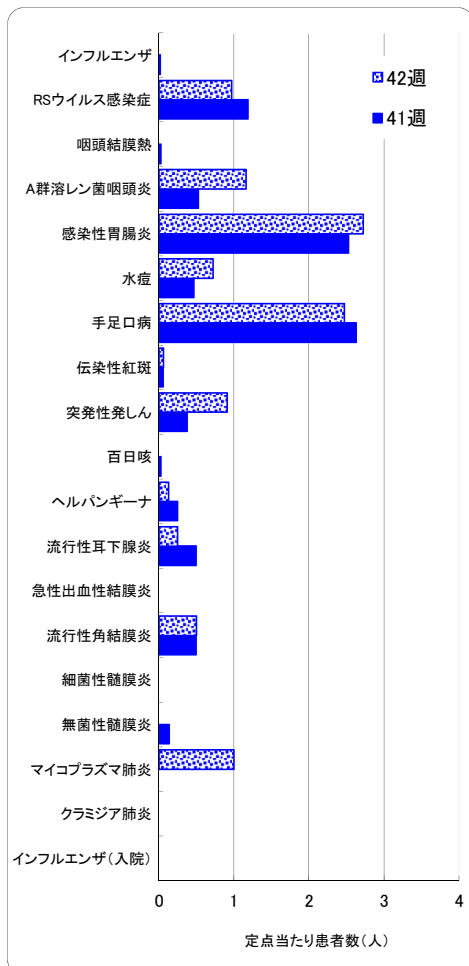
★定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況（先週との比較、定点当たり患者数）

下記グラフに示す19疾患の患者報告数は、先週(281名)より減少し、今週は311名となっています。今週、増加した疾患はA群
溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、突発性発しんおよびマイコプラズマ肺炎で、減少した疾患はRSウイルス感染症、ヘルパ
ンギーナ、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等です(週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

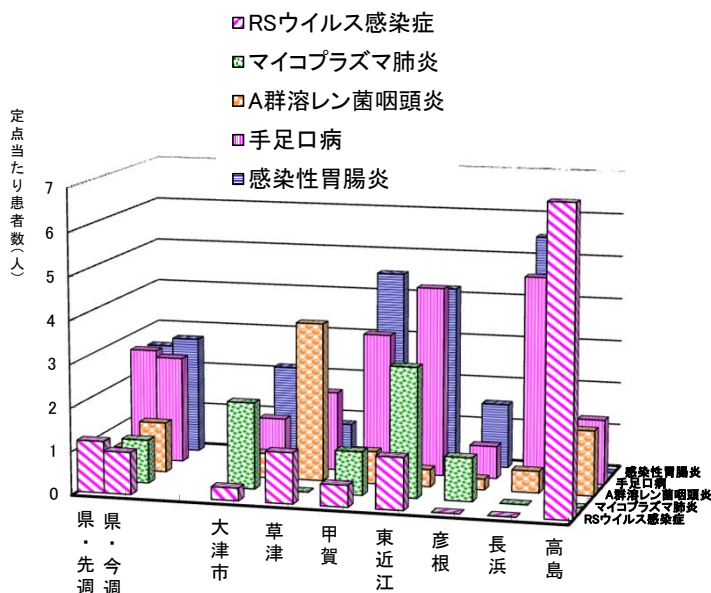
マイコプラズマ肺炎については、過去の同時期より最も多く発生しています。また、今週は急増しており、大津市、甲賀、東近江および彦根保健所管内から報告されています。マイコプラズマ肺炎の発生状況は、(3)今週の発生状況に示すとおりです。

「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」によると、警報および注意報の発生基準値を超えている疾患および保健所管内は以下のとおりです。

警 報---手足口病 (警報開始基準値 5.00、警報終息基準値 2.00) 甲賀および長浜保健所管内



上位疾患の保健所管内別発生状況(第42週)



県全体における上位疾患の発生状況は、①感染性胃腸炎、②手足口病、③A群溶
 菌咽頭炎、④マイコプラズマ肺炎、⑤RSウイルス感染症の順に多くなっています。

感染性胃腸炎——県全体では先週より微増となり、甲賀、東近江および長浜でやや多くなっています。

手足口病-----県全体では先週より微減となっていますが東近江で急増し、先週の約4倍増となっています。また、甲賀および長浜では引き続き警戒レベルを超過しています。

A群溶レン菌咽頭炎——草津で急増し、第38週以降、多い状態が続いています。

A群溶血性連鎖球菌咽頭炎――卓津市で急増し、第38週以降、多い状態が続きます。
マイコプラズマ肺炎――大津市におよび、東近江でやや多くなっています。

RSウイルス感染症——大津市および東近江地域で多くなっています。県全体では先週より減少していますが、高島で多い状態が続いています。

1. 全数報告感染症(一類～五類)の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は、保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症等を把握することができます。

感 染 症 類 型	疾 患 名	平成23年 累積報告数		平成22年 累積報告数 ^(※1)		平成21年 累積報告数 ^(※2)	
		滋賀 (42週)	全 国 ^(※3) (41週注)	滋賀	全 国 ^(※3)	滋賀	全 国 ^(※3)
一 類 感 染 症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二 類 感 染 症	結核	262	23,877	251	26,704	256	26,996
三 類 感 染 症	コレラ	0	8	0	10	1	16
	細菌性赤痢	3	236	2	235	0	181
	腸管出血性大腸菌感染症	67	3,389	66	4,131	27	3,889
	パラチフス	0	20	1	21	0	27
四 類 感 染 症	E型肝炎	0	48	0	66	1	56
	A型肝炎	0	159	3	346	0	115
	オウム病	0	12	1	11	0	21
	つつが虫病	0	171	2	406	0	465
	デング熱	1	86	2	245	0	93
	マラリア	0	67	0	76	0	56
	レジオネラ症	10	620	10	751	8	717
	アメーバ赤痢	2	641	7	845	10	786
五 類 感 染 症	ウイルス性肝炎	1	197	3	222	3	223
	急性脳炎	1	206	0	241	8	526
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	103	2	171	2	142
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	163	3	127	2	103
	後天性免疫不全症候群	4	1,123	1	1,549	9	1,446
	ジアルジア症	1	52	1	80	0	70
	梅毒	6	603	9	621	3	691
	破傷風	1	94	0	106	3	113
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	47	2	121	0	116
	風しん	2	327	5	89	2	147
	麻しん	1	408	1	455	7	732
新型インフルエンザ 等感染症	新型インフルエンザ(H1N1) ^(※4)	0	0	0	0	138	12,654
動物の感染症	細菌性赤痢(サル)	9	19	0	59	0	34

注：42週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報(SIDR)に掲載します。

※1：感染症発生動向調査事業年報暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成23年3月現在)。

※2：感染症発生動向調査事業年報(国立感染症研究所感染症情報センター、平成23年4月確定)。

※3：全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています(国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照)。

※4：感染症法の一部改正(平成21年7月24日施行)により届出の対象となった報告数です(届出期間：平成21年7月24日～8月24日)。

2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです。

(患者報告数＝定点当たり患者数×定点数)

(1)疾病別・週別発生状況(平成23年第37週～42週、9/12～10/23)

定点区分	定点 数	疾 患 名	定点当たり患者数（ ↑ 前週より増加 → 前週と同じ ↓ 前週より減少 ）										
			37週	38週	39週	40週	41週	42週	週				
			9/12～	9/19～	9/26～	10/3～	10/10～	10/17～	38	39	40	41	42
インフルエンザ	53	インフルエンザ	0	0	0.02	0	0.02	0	→	↑	↓	↑	↓
小児科	32	RSウイルス感染症	0.75	0.34	1.19	1.38	1.19	0.97	↓	↑	↑	↓	↓
		咽頭結膜熱（プール熱）	0.09	0.13	0.03	0.03	0.03	0	↑	↓	→	→	↓
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.56	0.53	0.84	0.72	0.53	1.16	↓	↑	↓	↓	↑
		感染性胃腸炎	2.56	2.75	2.34	2.50	2.53	2.72	↑	↓	↑	↑	↑
		水痘	0.47	0.38	0.44	0.31	0.47	0.72	↓	↑	↓	↑	↑
		手足口病	3.16	2.19	2.81	2.56	2.63	2.47	↓	↑	↓	↑	↓
		伝染性紅斑（リンゴ病）	0.16	0	0.03	0.34	0.06	0.06	↓	↑	↑	↓	→
		突発性発しん	0.44	0.56	0.50	0.63	0.38	0.91	↑	↓	↑	↓	↑
		百日咳	0	0	0.09	0.03	0.03	0	→	↑	↓	→	↓
		ヘルパンギーナ	0.97	0.66	0.41	0.56	0.25	0.13	↓	↓	↑	↓	↓
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0.53	0.63	0.72	0.38	0.50	0.25	↑	↑	↓	↑	↓		
眼科	8	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
		流行性角結膜炎	0.13	0.25	0.13	0.25	0.50	0.50	↑	↓	↑	↑	→
基幹	7	細菌性髄膜炎	0	0.14	0	0.14	0	0	↑	↓	↑	↓	→
		無菌性髄膜炎	0	0	0.14	0.14	0.14	0	→	↑	→	→	↓
		マイコプラズマ肺炎	0.57	0.14	0.43	0.29	0	1.00	↓	↑	↓	↓	↑
		クラミジア肺炎（オウム病を除く）	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
		インフルエンザ（入院）*	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→

*：平成23年9月5日からインフルエンザ入院サーベイランスが開始されたことに伴い、基幹定点からの報告数(定点当たり患者数)を掲載

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第42週、10/17～10/23)

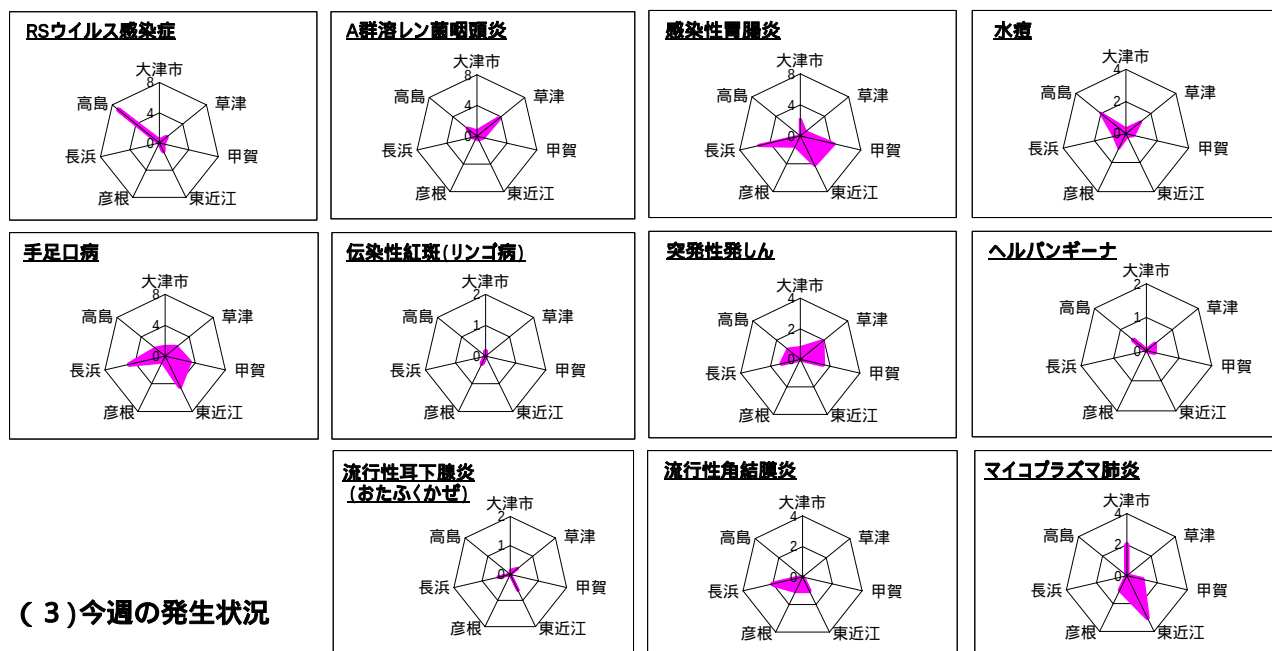
疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	
RSウイルス感染症	0.97	0.29	1.17	0.50	1.20	0	0	7.00	
咽頭結膜熱(プール熱)	0	0	0	0	0	0	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.16	0.57	3.67	0.75	0.40	0.25	0.50	1.50	
感染性胃腸炎	2.72	2.14	0.83	4.50	4.20	1.50	5.50	0	
水痘	0.72	0.29	1.17	0.50	0.20	1.00	0.75	2.00	
手足口病	2.47	1.14	1.83	3.25	4.40	0.75	4.75	1.50	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0.14	0	0	0	0.25	0	0	
突発性発しん	0.91	0.71	1.83	1.50	0	0	1.25	1.00	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.13	0	0.33	0.25	0	0	0	0.50	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.25	0.14	0.33	0	0.60	0	0.50	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.50	0	0	0	1.00	1.00	2.00	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	1.00	2.00	0	1.00	3.00	1.00	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
インフルエンザ(入院)	0	0	0	0	0	0	0	0	

赤・太字
青緑・太字

は警報発生基準値(開始基準値または終息基準値)を超えています。
は注意報発生基準値を超えています。

0 1 2 3 4
定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)

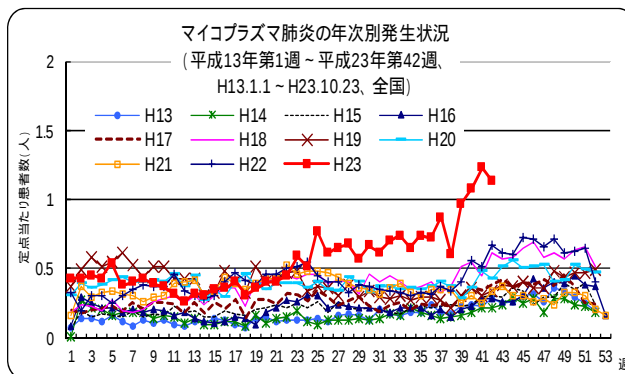
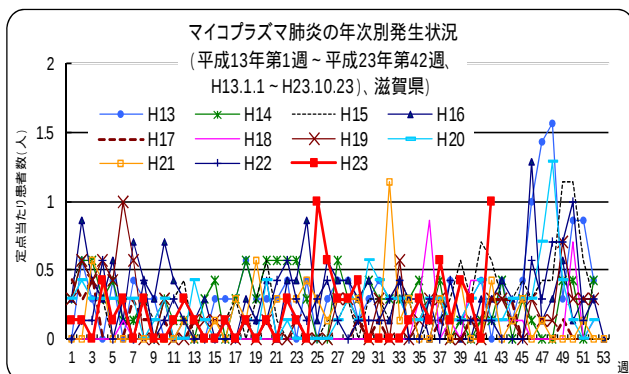


(3)今週の発生状況

<水痘> 大津市保健所管内では先週より大幅に減少し、草津、長浜および高島保健所管内では大幅に増加しています。
<突発性発しん> 県全体では先週より大幅に増加し、特に、草津および甲賀保健所管内で急増しています。
<流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)> 先週多かった草津保健所管内では、大幅に減少しています。

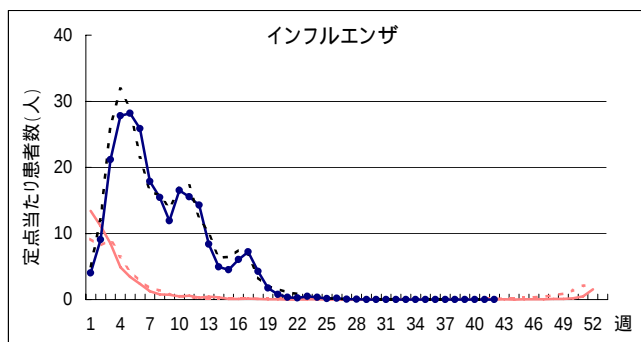
マイコプラズマ肺炎の発生状況

[トップページに戻る](#)

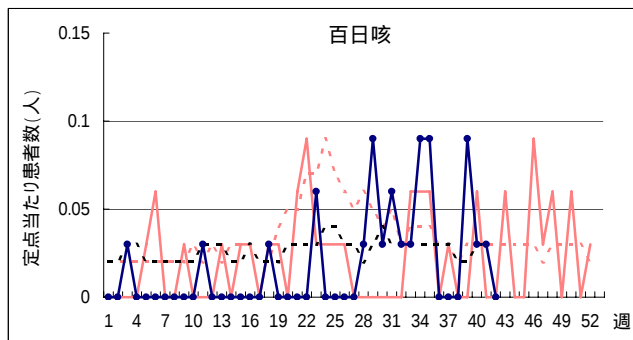
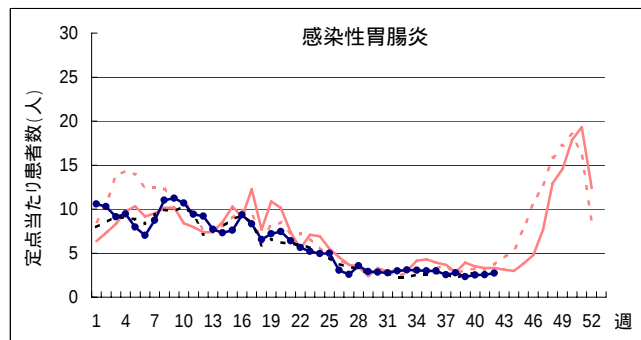
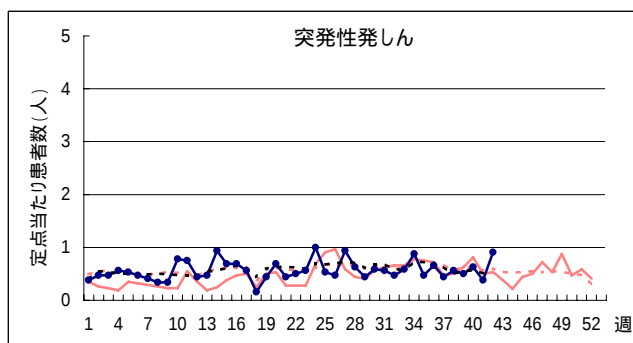
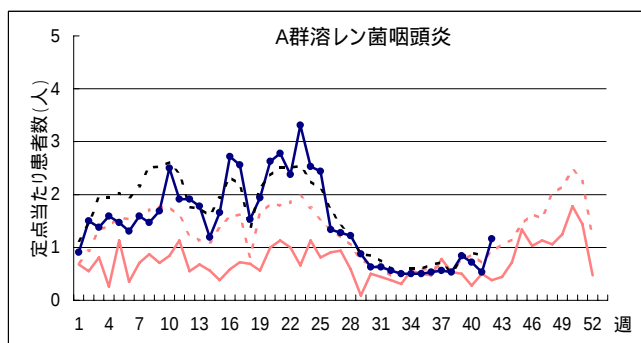
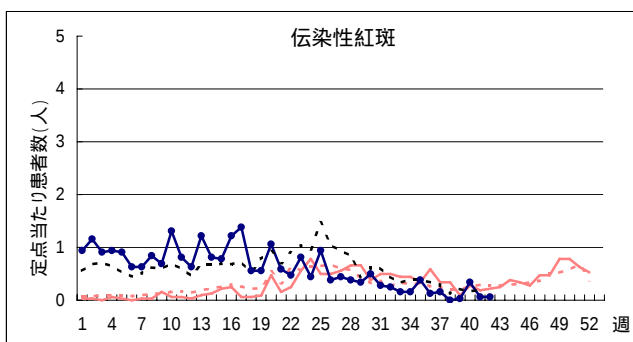
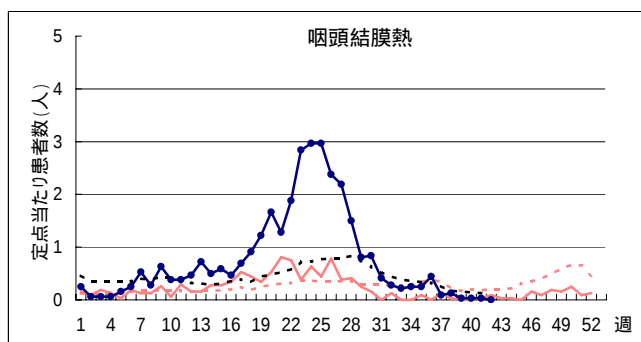
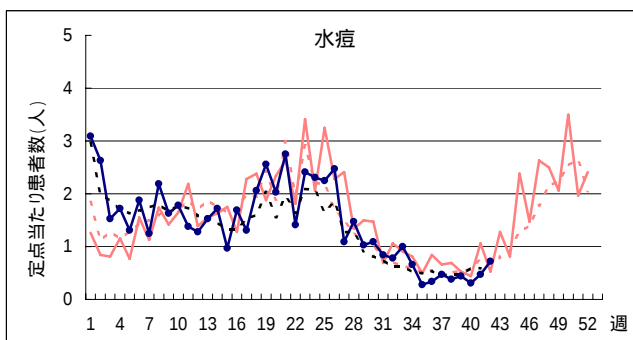
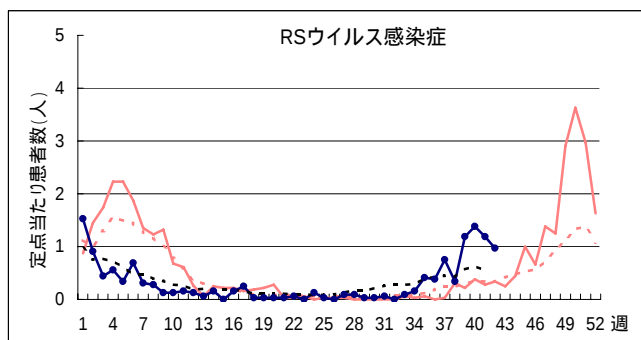


平成23年第42週現在の滋賀県における発生状況は、第25～29週(6/20～7/24)および第37～42週(9/12～10/23)に多く発生しています。過去の同時期と比較すると、最も多くなっています。また、全国の発生状況では、例年、秋季から年末にかけて増加していますが、今年はかなり早い時期から増加し、第23週(6/6～6/12)以降、過去同時期と比較すると最多となっています。

疾病別定点当たり患者数(平成23年第 1 ~ 42 週、H23.1.3 ~ H23.10.23)



H22 { 滋賀 ————
全国
H23 { 滋賀 —●—
全国
週



疾病別定点当たり患者数 (平成23年第 1 ~ 42 週、H23.1.3 ~ H23.10.23)

H22 〔 滋賀 ———— 全国 〕
H23 〔 滋賀 —●— 全国 〕

